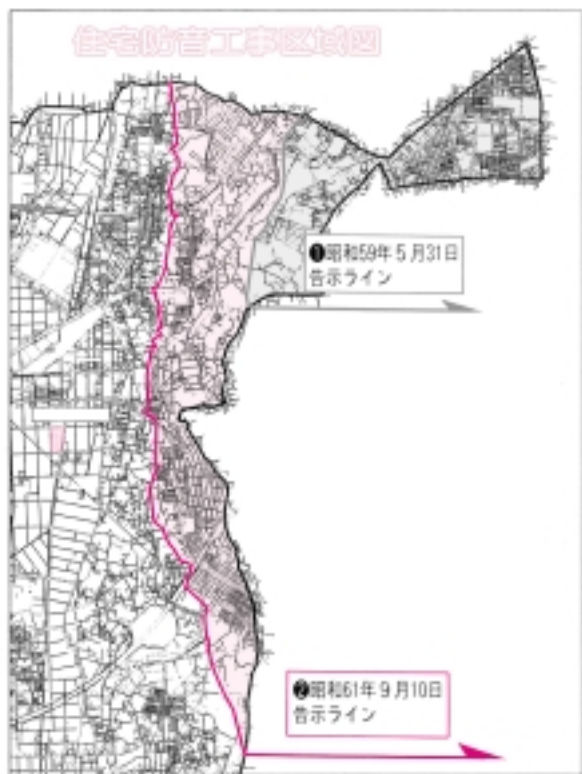


基地騒音 防止・軽減へ

住宅防音工事を助成

国(横浜防衛施設局)では、厚木基地離着陸航空機の騒音を防止・軽減するために、住宅防音工事助成を行っています。防音工事を希望する方で、まだ申し込みをしていない方は、座間防衛施設事務所ならびに海

老名市役所企画経営課または柏ヶ谷・上今泉・国分・大谷の各コミセン、国分寺台・勝瀬文化センターに配備してある「住宅防音工事希望届」に必要事項を記入し、横浜防衛施設局まで郵送してください。



新規・追加などに補助金 「申込希望届」は国へ郵送で

◆対象・助成室数

(1) 新規工事

▽対象 住宅防音工事対象区域内(地図①・②部分)に昭和59年5月31日または昭和61年9月10日までに建てられた住宅で、これまで

防音工事を実施していない住宅 ▽助成室数 家族数に関係なく2室まで。

れる住宅に限ります ▽助成室数 家族数+1室(最高5室まで)。

実施する住宅で、現況がバリアフリーまたはフレックステッド住宅。

とする方、車いすなどによる生活状況にある方)の居住する住宅。

●助成室数は5室まで

(5) 防音区画改善工事

▽対象 住宅防音工事対象区域内で、次の①～③のいずれかに該当する住宅。

①これから防音工事(新規・追加・特定・立替)を

※原則として、専用台所・玄関などは助成対象になりませんが、(5)の工事に限り、これらを助成対象とできる場合があります。

標準仕様で全額補助

〈超過分は自己負担に〉

◆補助金の額

いずれの場合も国の定め標準仕様により、工事を行う場合は全額助成が受けられます。しかし、室数に応じた一定限度額を超えた場合は、超過分が自己負担になります。

平成4年3月までに行った防音工事で取り付けた空気調和機器(エアコン等の換気設備および冷暖房機)が故障または機能低下した場合、取替えにかかる工事費の9割が補助されます。

(4) 建替工事

▽対象 住宅防音工事対象区域内で、過去に防音工事の助成を受け、工事完了後10年以上経過した住宅の建て替えを計画または建て替え済みの住宅。ただし、建て替え前後の住宅に代替性・継続性があると認めら

平成4年3月までに行った防音工事(エアコン等の換気設備および冷暖房機)が故障または機能低下した場合、取替えにかかる工事費の9割が補助されます。

◆慎重に手続きを

住宅防音工事は、みなさんが国に補助金交付を申請

後、国による交付決定を待たないと着手できません。

今月は「非行問題に取り組む全国強調月間」

7月は「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」です。期間中は、関係機関や諸団体により全国的規模で非行防止・健全育成の取り組みが行われます。地域や家族との触れ合いを大切にして、青少年が非行に走らない社会環境を作りましょう。

●非行防止啓発ポスターを募集

市と教育委員会では、非行防止啓発活動の一環として、ポスターを募集します。

▽応募資格 ①小学生の



平成15年度 海老名市・海老名市教育委員会 非行防止啓発ポスターコンクール

▽規格 画用紙四ツ切り(39センチ×54センチ) ▽提出先 9月7日(火)までに青少年相談センターへ直接持参 ▽発表 広報えびな紙上(予定) ▽表彰 「家庭と地域の教育を考えるつどい」で実施(予定) ▽賞 最優秀賞 各1点、優秀賞 各2点、奨励賞 各3点、佳作 各5点、その他 各10点、応募作品は未発表のものに限ります ②応募作品の裏面右下に住所、氏名(ふりがな)、電話番号、学校名、学年を明記のこと。作品についてのコメントがあれば併せて記入を ③入賞作品の著作権は市に帰属します ④最優秀作品2点は、非行防止啓発ポスターとして作成し、市内小中学校、公共施設などに掲示。応募作品は青少年健全育成関連の事業にも活用します。

▽応募資格 ①小学生の 少年の非行防止に関するも

市政の現場から

市長 内野 優

今年度予定しております東柏ヶ谷小学校の耐震・増改築工事の当面中止を決定しました。

東柏ヶ谷小の工事を中止

同校舎については、今後さらに精密な検査を行い、教育委員会とともに検討し、再設計して工事を実施するか、新たに建て替えるか決断したいと思っています。

今回の事態で思うことは、学校施設の各種補修工事のうち、校舎の耐震

とあります。学区見直しは特徴があり、魅力のある学校づくりが第一の目的でありますが、校舎建設経費の低減にも効果があります。総じて、今後の学校施設整備は教育の立場だけでなく、多面的な視点から検討して進めたいと考えます。

南棟校舎二階部分の柱・梁・壁の強度調査の結果、通常の状態では問題ないものの、工事を実施する上で必要な強度が不足しているとの結果が出たため、この状態のまま耐震補強工事を実施することとは適切ではない、増改築もまた同様と推測されたからです。

工事を他に先駆け優先的に行うべきことであり、その意味では一校で七千万円以上の経費を要する学校トイレ改修などは先送りすることも止むを得ないと思います。

今後は、少子化が進む社会情勢や高齢化、さら

